



株式会社エディオン 決算説明会

2014年3月期



2014年5月16日

CONTENTS

1. 2013年度 通期実績

2. 2014年度 通期計画

3. 2014年度の取り組み

CONTENTS

1. 2013年度 通期実績

2. 2014年度 通期計画

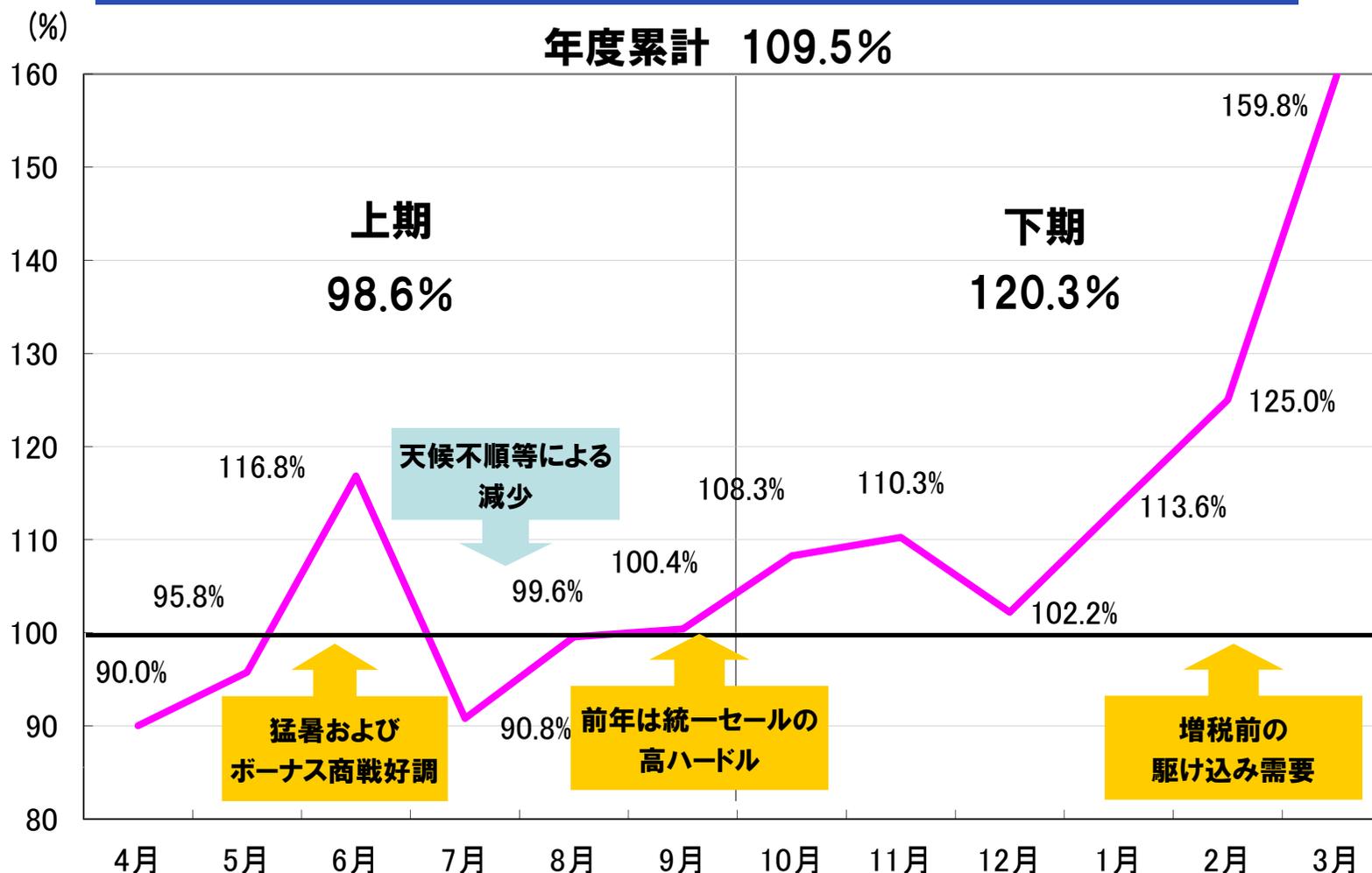
3. 2014年度の取り組み

**常務取締役 管理本部長
梅原 正幸**

百万円・%	2012年度			2013年度				
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	計画	計画比
売上高	100.0	685,145	90.3	100.0	766,699	111.9	735,000	104.3
売上総利益	25.3	173,617	93.7	26.4	202,500	116.6	188,500	107.4
販売管理費	25.7	176,093	100.1	24.6	188,780	107.2	182,000	103.7
営業利益	△0.4	△2,476	—	1.8	13,720	—	6,500	211.1
経常利益	0.2	1,476	9.0	1.9	14,883	1,007.9	7,500	198.5
当期純利益	△0.4	△2,640	—	0.7	5,149	—	4,000	128.8
出店数 (S&B含む)	—	15店	—	—	31店	—	31店	—
設備投資	—	15,670	171.0	—	20,068	128.1	22,000	91.2
減価償却費	—	13,123	94.1	—	12,398	94.5	12,400	100.0

年度末にかけて駆け込み需要等により大きく伸長した

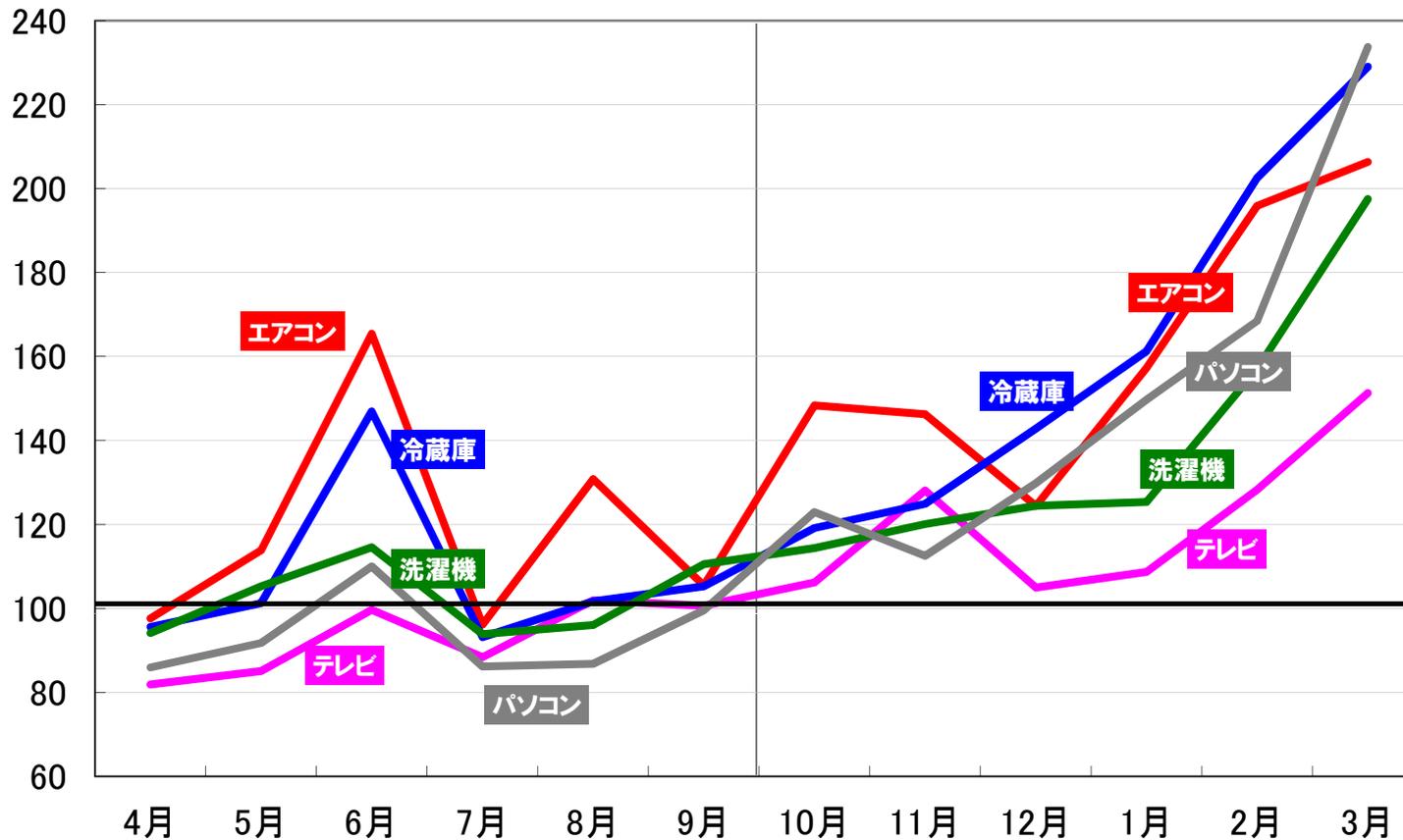
直営既存店 受注前年比 推移



エアコン・冷蔵庫・パソコンなどが大きく伸長した

直営全店 主要商品 受注前年比 推移

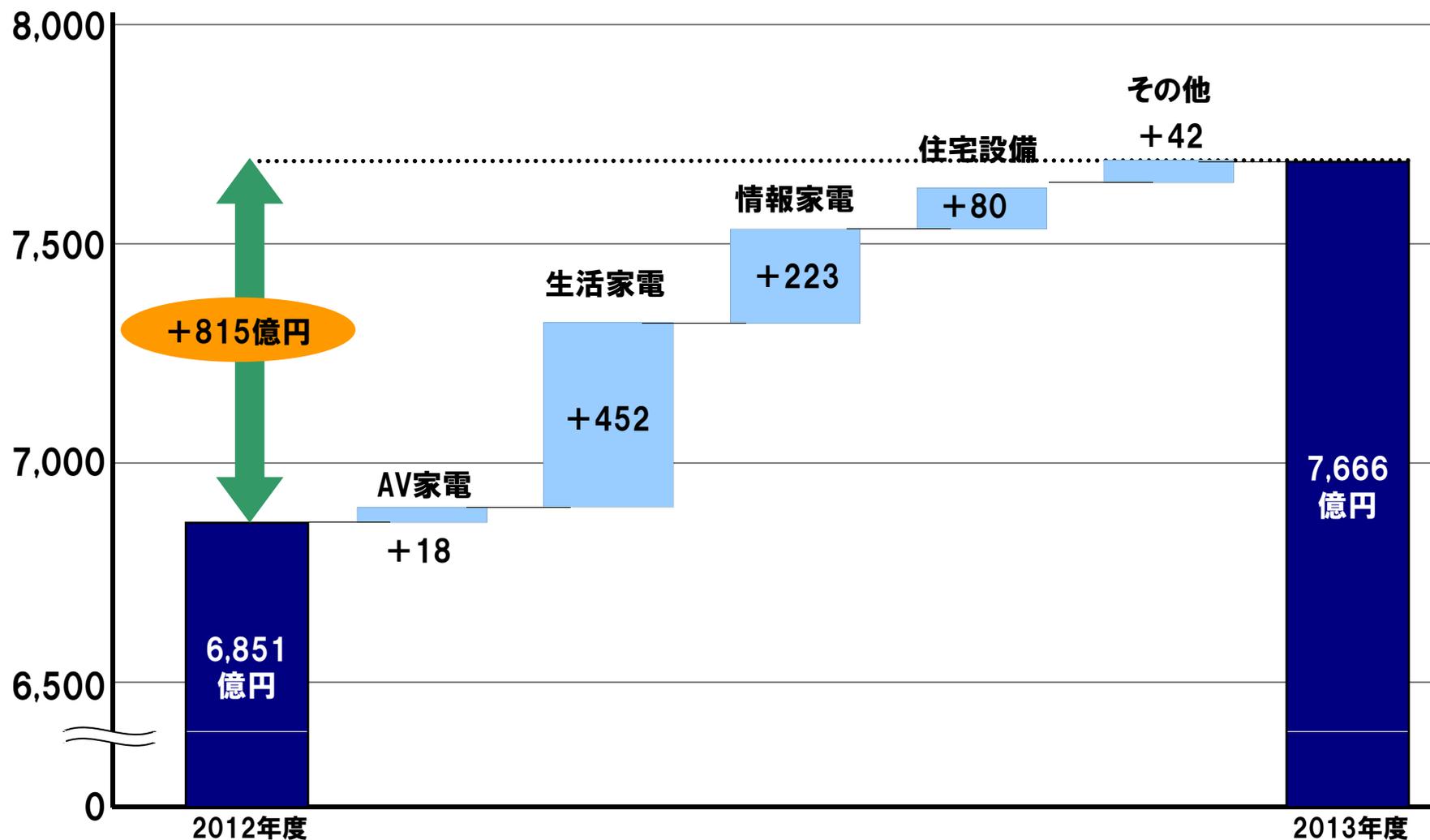
(単位:%)



商品	前年比
テレビ	107.8
エアコン	130.7
冷蔵庫	130.8
洗濯機	123.8
パソコン	126.3

生活家電が牽引し売上高は前年から815億円増加した

（単位：億円）【前年対比】



売上増等により販売費や人件費などが増加した

(単位) 百万円・%	2012年度		2013年度				
	売上比	実績	売上比	実績	前年増減	計画	計画増減
販管費合計	25.7	176,093	24.6	188,780	+12,686	182,000	+6,780
広告宣伝費	3.9	26,627	4.0	30,609	+3,983	29,100	+1,509
販売費	2.4	16,518	2.8	21,498	+4,980	21,800	△301
人件費	10.9	74,691	9.9	76,072	+1,381	73,300	+2,772
設備費	6.7	45,879	6.1	46,365	+487	45,800	+566
その他販管費	1.8	12,377	1.9	14,232	+1,855	12,000	+2,232

広告宣伝費 前年ブランド統一による減少 △18億、テクニカル要因 +49億

販売費 配送料等 +20億、クレジット手数料等 +17億、長期保証関連費用 +12億

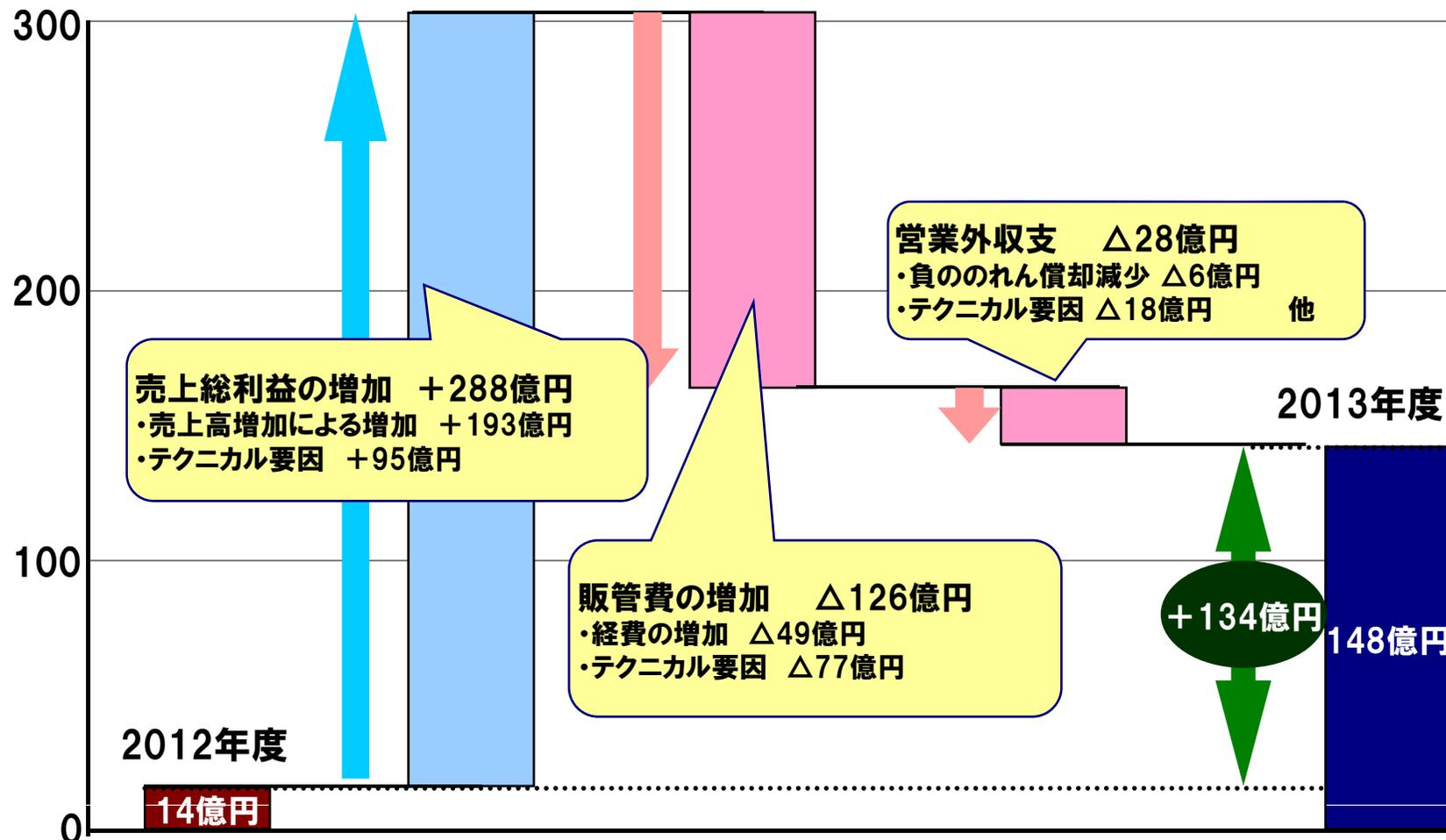
人件費 賞与 +16億、売上増による残業費用の増加、社員数減少による減少

設備費 減価償却費減少等による減少、テクニカル要因 +12億

その他販管費 前年ブランド統一による減少、テクニカル要因 +16億

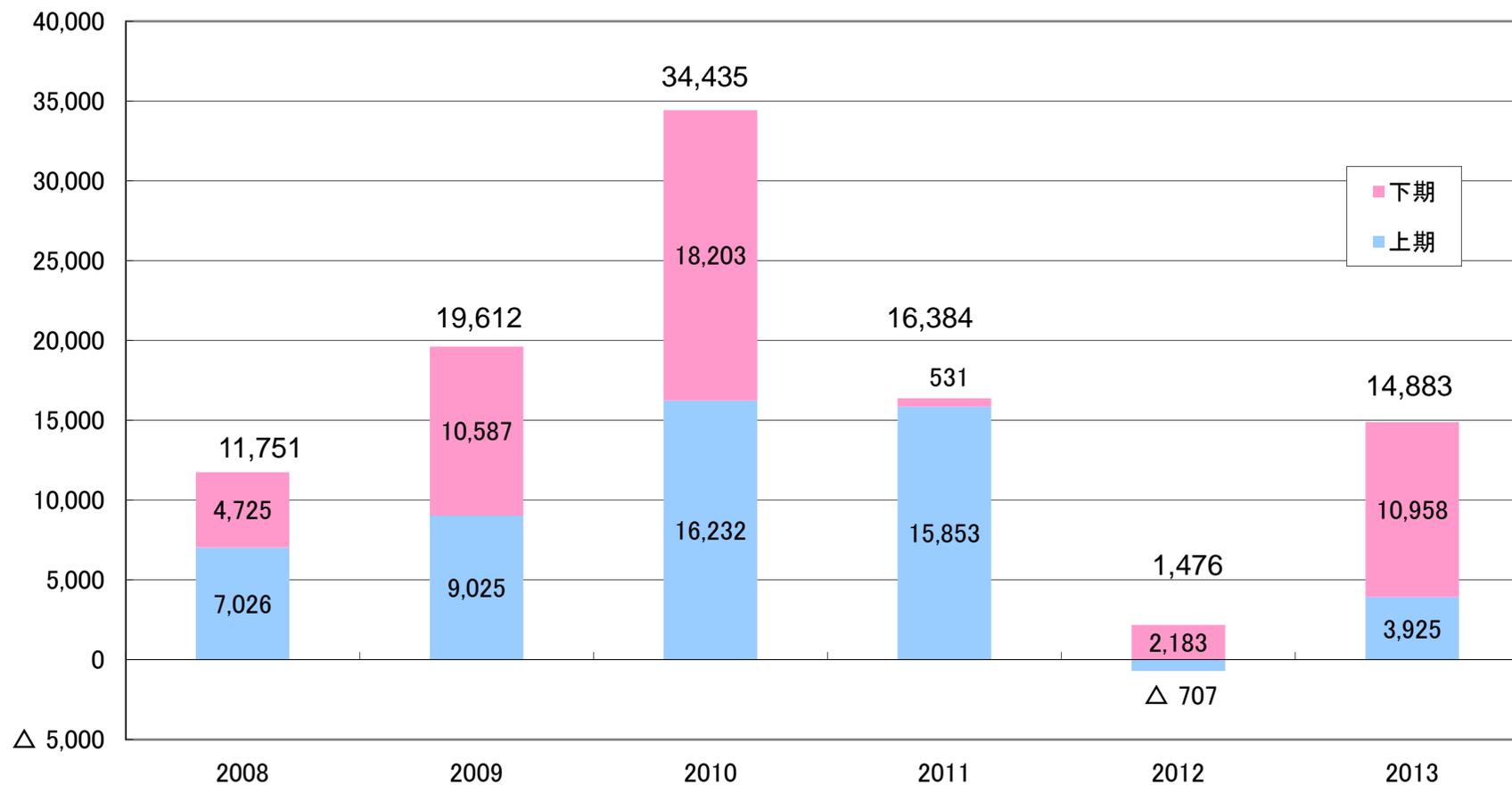
駆け込み需要等にもなう売上増加により大きく改善した

（単位：億円）



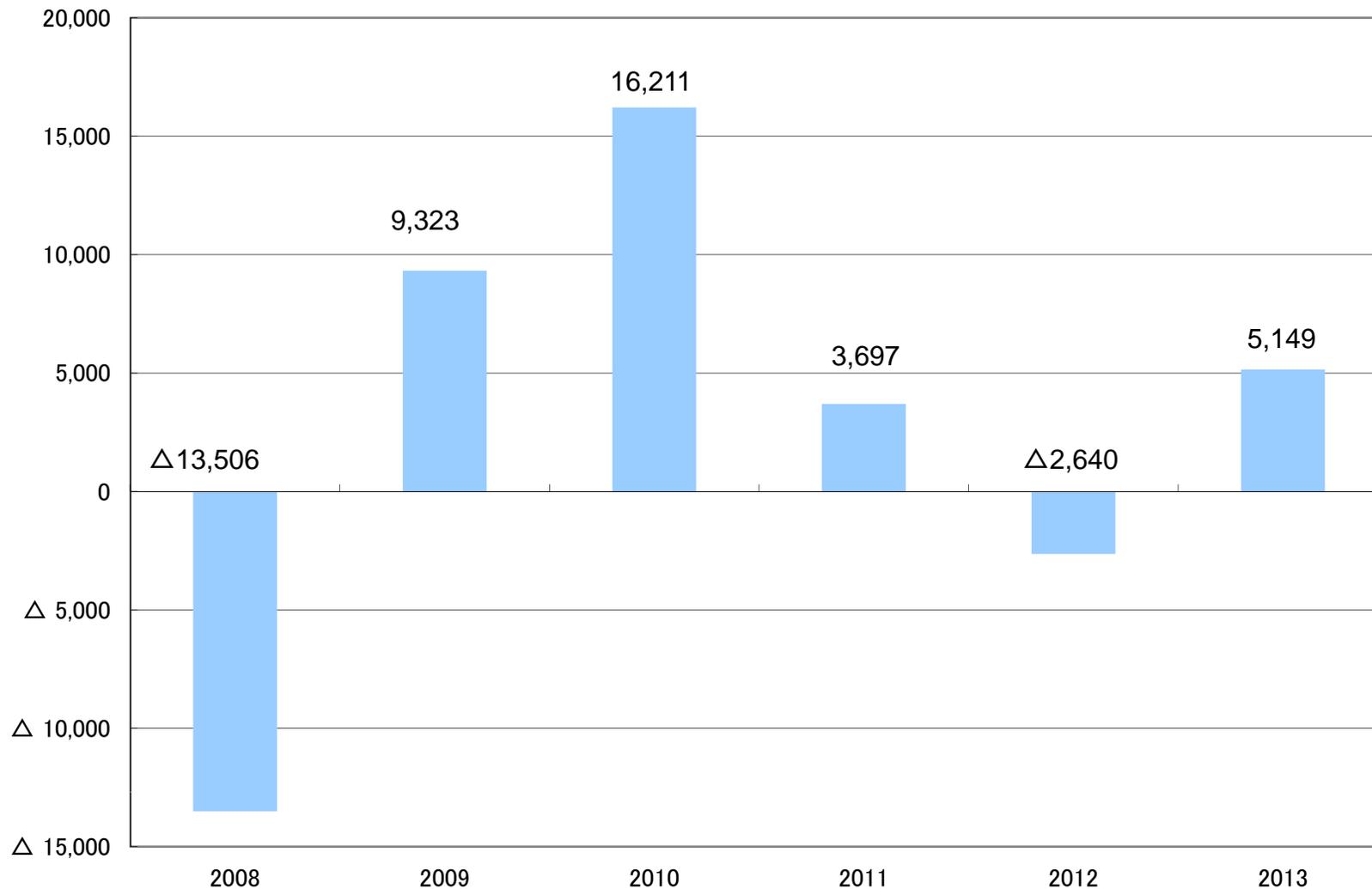
経常利益額は前年から134億円改善し、大幅な増益を達成した

(単位:百万円)



当期純利益は前年から77億円改善し黒字化できた

(単位: 百万円)



在庫は減少したものの駆け込み需要の影響により売掛金などが増加した

(単位:百万円)	2013年3月	2014年3月	増減額	
流動資産	162,446	177,797	+15,351	主な資産の状況 ●流動資産 +153億円 うち商品 Δ153億円 ●在庫回転率 +0.7回転 2012年度 7.6回転 →2013年度 8.3回転 ●有形固定資産 +5億円 土地 +11億円 建物 +7億円 建設仮勘定 Δ22億円 ●無形固定資産Δ29億円 自社利用ソフトウェア Δ31億円 ●総資産 +77億円
現預金	9,966	20,293	+10,327	
売掛金	28,166	46,377	+18,211	
商品	99,779	84,467	Δ15,312	
固定資産	215,640	208,001	Δ7,639	
有形固定資産	154,002	154,599	+597	
無形固定資産	8,053	5,080	Δ2,972	
投資その他	53,585	48,321	Δ5,263	
総資産	378,087	385,799	+7,712	
総資産回転率/年	1.8回転	2.0回転	+0.2回転	

短期借入金が減少し有利子負債依存度が大きく低下した

(単位:百万円)	2013年3月	2014年3月	増減額	
負債	239,598	239,042	△555	主な負債・純資産の状況 ●負債 △5億円 借入金 △233億円 前受金 +104億円 ●純資産 +82億円 純利益 +51億円 増資等 +49億円 ●有利子負債依存度 26.3% △7.1% ※経営目標 30%未満 ●自己資本比率 38.0% +1.4% ※経営目標 40%以上
買掛金	45,047	50,551	+5,504	
短期借入金	36,000	4,000	△32,000	
長期借入金	87,633	96,353	+8,719	
純資産	138,489	146,756	+8,267	
自己資本	138,212	146,439	+8,227	
有利子負債残高	126,276	101,563	△24,712	
有利子負債依存度	33.4%	26.3%	△7.1	
自己資本比率	36.6%	38.0%	+1.4	

黒字転換およびたな卸資産の減少等によりCFが大きく改善した

(単位:百万円)	2012年度	2013年度	増減額	
営業CF	△4,643	45,741	+50,384	キャッシュ・フローの状況 ●営業CF 457億円 (前年比 +503億円) たな卸資産減少 153億円 減価償却費 123億円 ●投資CF △131億円 (前年比 +2億円) 有形固定資産 取得 △173億円 売却 35億円 ●財務CF △222億円 借入金の返済 △231億円
税引前純利益	△5,642	8,894	+14,537	
たな卸資産	△19,121	15,323	+34,444	
投資CF	△13,400	△13,154	+246	
有形固定資産取得	△11,984	△17,306	△5,321	
有形固定資産売却	458	3,598	+3,139	
財務CF	17,325	△22,259	△39,584	
現金残高	9,967	20,293	+10,326	
フリーCF	△18,044	+32,586	+50,630	

直営家電店23店舗を新設、8店を移転した

店舗数増減実績（2013年4月～2014年3月）

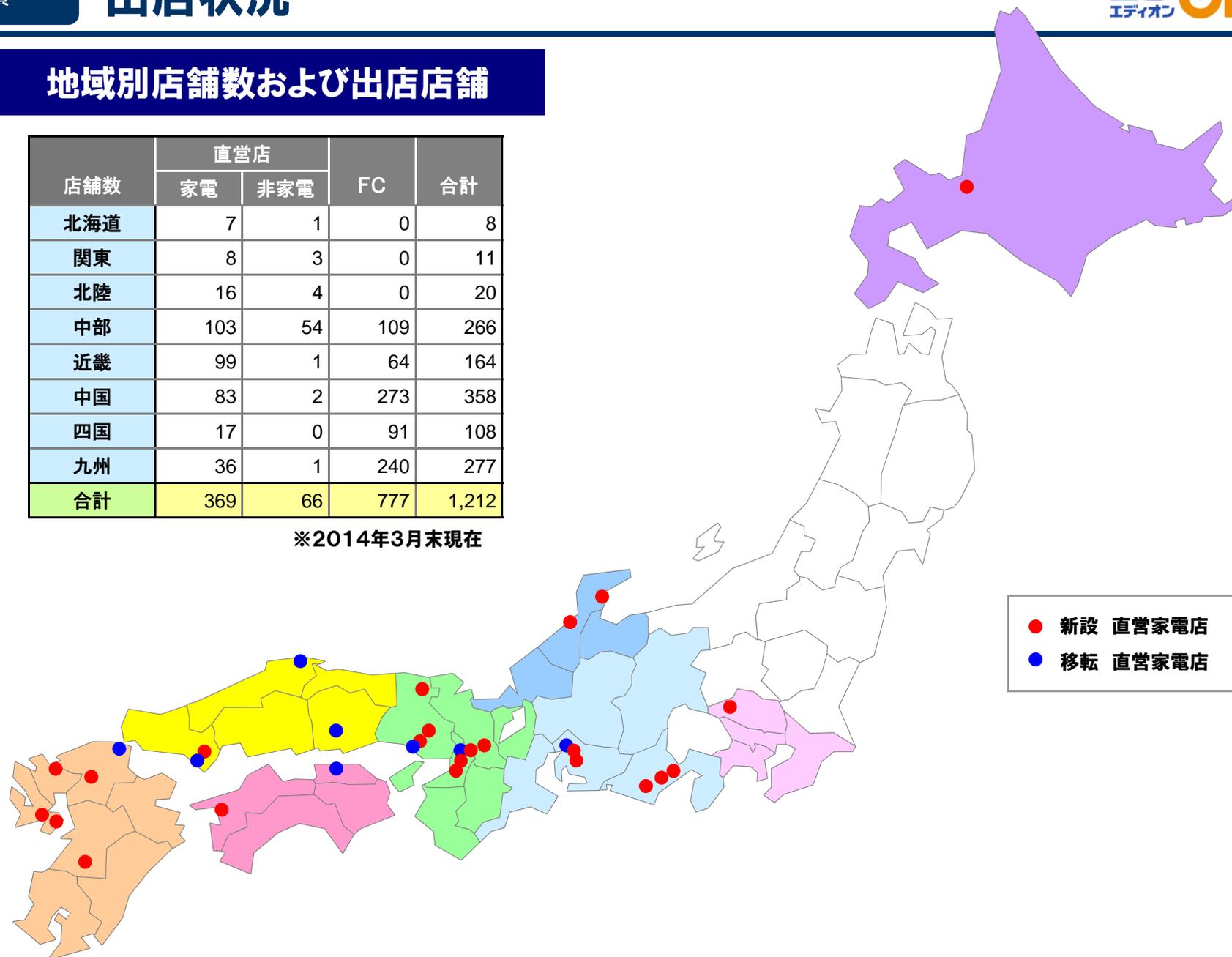
	2013年 3月末	新設	移転・ 建替	閉鎖	増減	2014年 3月末
家電店	355	23	8	9	+14	369
非家電店	70	2	0	6	△4	66
直営店計	425	25	8	15	+10	435
FC店	752	40	0	15	+25	777
全店計（FC含）	1,177	65	8	30	+35	1,212
直営店 売場面積(m ²)	1,041,859	+68,020		△56,799	+11,221	1,053,080

非家電店・・・携帯電話専門店、ホームセンター、ソフト専門店等

地域別店舗数および出店店舗

店舗数	直営店		FC	合計
	家電	非家電		
北海道	7	1	0	8
関東	8	3	0	11
北陸	16	4	0	20
中部	103	54	109	266
近畿	99	1	64	164
中国	83	2	273	358
四国	17	0	91	108
九州	36	1	240	277
合計	369	66	777	1,212

※2014年3月末現在



- 新設 直営家電店
- 移転 直営家電店

CONTENTS

1. 2013年度 通期実績

2. 2014年度 通期計画

3. 2014年度の取り組み

2014年度 通期計画

売上高	<ul style="list-style-type: none"> ●7,700億円（前年増減 +33億円） ・既存店前年比:96%(家電 94%) ・出店計画:新規開設 11店、移転 5店、閉鎖 2店
売上総利益	<ul style="list-style-type: none"> ●1,990億円（前年増減 △35億円） ・売上総利益率:25.8%（前年増減 △0.6%）
販管費	<ul style="list-style-type: none"> ●1,850億円（前年増減 △37億円） ・減価償却費の減少 △19億円 ・人件費の減少 △25億円
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ●140億円（前年増減 +3億）
経常利益	<ul style="list-style-type: none"> ●138億円（前年増減 △10億）
当期純利益	<ul style="list-style-type: none"> ●55億円（前年増減 +4億円） ・特別損失 50億円

百万円・%	2013年度			2014年度			
	売上比	実績	前年比	売上比	計画	前年比	前年増減
売上高	100.0	766,699	111.9	100.0	770,000	100.4	+3,300
売上総利益	26.4	202,500	116.6	25.8	199,000	98.3	△3,500
販売管理費	24.6	188,780	107.2	24.0	185,000	98.0	△3,780
営業利益	1.8	13,720	—	1.8	14,000	102.0	+279
経常利益	1.9	14,883	1,007.9	1.8	13,800	92.7	△1,083
当期純利益	0.7	5,149	—	0.7	5,500	106.8	+350
出店数 (S&B含む)	—	31店	—	—	16店	—	—
設備投資	—	20,068	91.2	—	20,000	99.7	△68
減価償却費	—	12,398	94.5	—	10,500	84.7	△1,898

CONTENTS

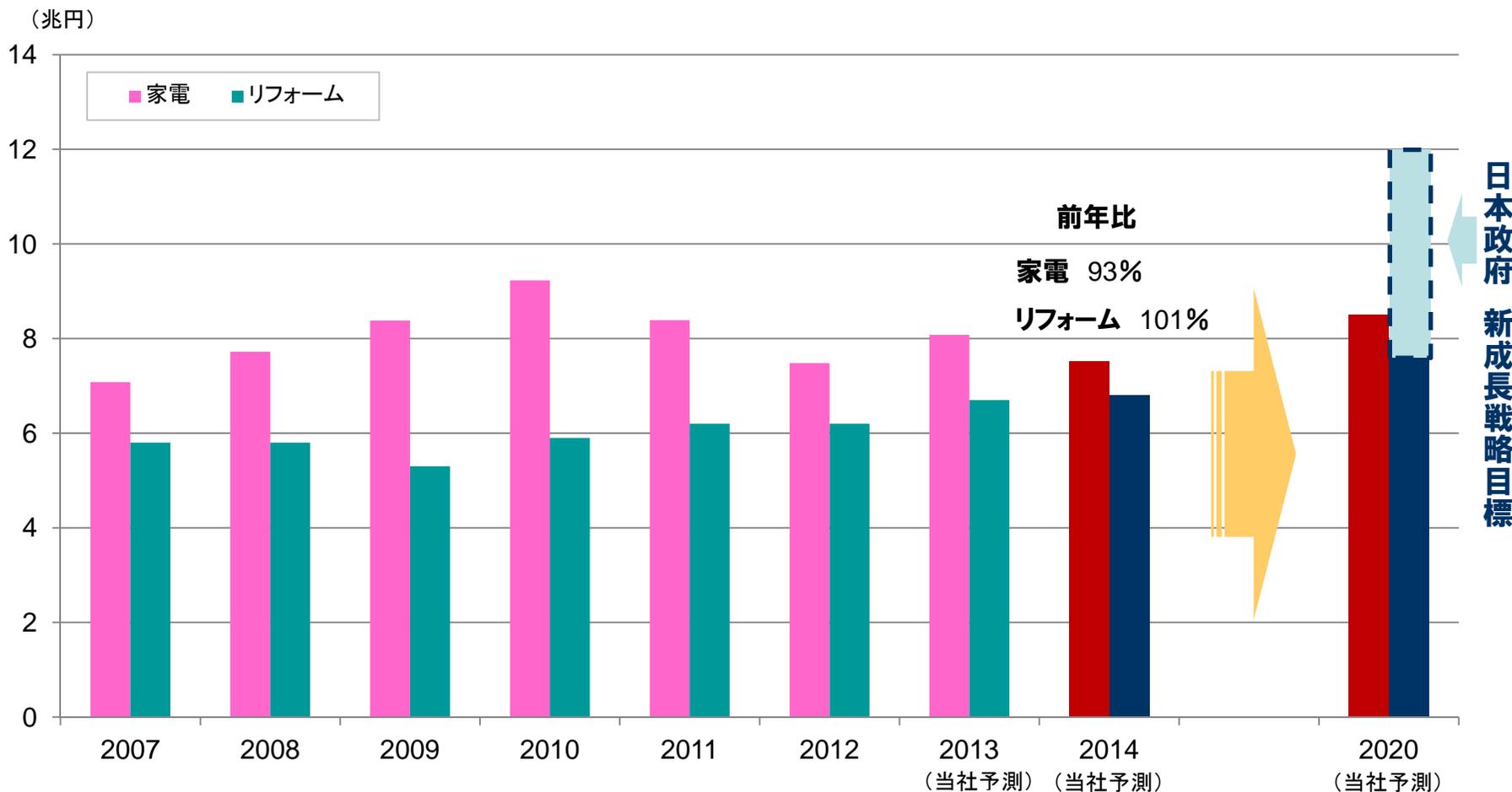
1. 2013年度 通期実績

2. 2014年度 通期計画

3. 2014年度の取り組み

代表取締役 会長 兼 社長
久保 允誉

中期的には家電・リフォームともに成長が予想される

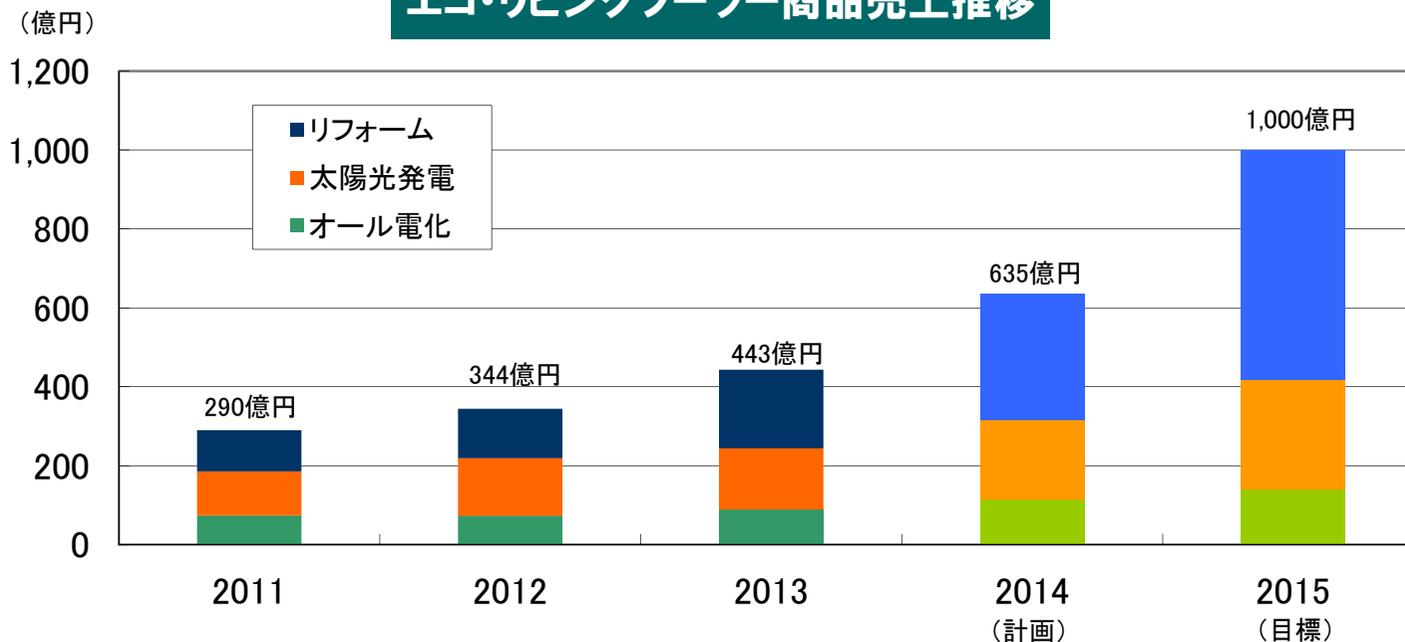


※出典 GfK Japan、矢野経済研究所および当社予測

<p>エコ・リビングソーラー商品</p>	<p>売上計画 635億円 前年比 143.3%(2013年度実績 443億円)</p>
<p>Eコマース</p>	<p>売上計画 250億円 前年比 219.4%(2013年度実績 113億円)</p>
<p>出店政策</p>	<p>出店計画 新設:11店、移転:5店 (2013年度実績 新設:23店、移転:8店)</p>
<p>会員カード</p>	<p>期末会員数計画 エディオンカード:458万人(前期比 +4.7万人) あんしん保証カード:468万人(前期比 +128.4万人)</p>
<p>インターネット接続事業</p>	<p>会費収入計画 121億円 前年比 122.2%(2013年度実績 99億円)</p>

成長の柱として引き続きリフォームを中心に推進していく

エコ・リビングソーラー商品売上推移



(百万円)	2012年度 通期実績	2013年度 通期実績	前年比	2014年度 通期計画	前年比
リフォーム	12,506	19,933	159.4%	32,000	160.5%
太陽光発電	14,586	15,466	106.0%	20,100	130.0%
オール電化	7,335	8,917	121.6%	11,400	127.8%
合計	34,427	44,317	128.7%	63,500	143.3%

小売企業としてトップの実績と高い満足度を実現

リフォーム売上ランキング(2012年度)

順位	企業名	売上(億円)
1	住友不動産	1,129
2	積水ハウス	1,115
3	積水化学工業	958
4	大和ハウス	764
5	ミサワホーム	648
6	住友林業	541
7	パナホーム	472
8	旭化成リフォーム	463
9	三井不動産	358
10	エディオン	344

リフォーム産業新聞2013年9月24日号より

大手リフォーム業者満足度ランキング

順位	企業名	得点
1	エディオン	88.3
2	住友林業ホームテック	84.7
3	ヤマダ・SXLホーム	83.8
4	積水ハウスリフォーム	82.3
5	大阪ガス	81.4
6	ヤマダ電機	80.2
7	コーナン	78.7
8	住友不動産リフォーム	78.1
9	大和ハウスリフォーム	77.4
10	東京ガス	76.4

週刊ダイヤモンド2014年1月25日号より

家電量販店ならではの強みを活かして拡大している

お客様のニーズ	当社の強み
<p>料金が分かりづらい。</p>	<p>工事費込みのパックリフォームを開発し、お客様に分かりやすくした。</p>
<p>どの業者が信頼できるのか分からない。</p>	<p>大型店舗を構えた家電量販店ならではの安心感がある。</p>
<p>どういった商品があるのか気軽に確かめたい。</p>	<p>気軽に入れる家電量販店店頭で実物やカタログを確認できる。</p>
<p>分からないことを気軽に相談したい。</p>	<p>店頭の専任担当者にいつでも相談できる。</p>
<p>(潜在的ニーズ) シャワートイレの買い替えやビルトインコンロの買い替えなどのお客様</p>	<p>ご自宅のトイレやキッチンが古くなっているお客様に提案できる。</p>



展開店舗と商品ラインナップの拡大を推進する

設備の取替え

ぷちdeリフォーム

リフォーム未済という新発想



- トイレ
- レンジフード
- 洗面化粧台
- ビルトイン食器洗機
- ...

全店舗展開

水周りリフォーム

パックdeリフォーム

内装工事込みの水回り快適リフォーム



- システムキッチン
- ユニットバスルーム
- ...

214店舗(2014/3)
→270店舗(2015/3)

リフォームコーナー展開店

大規模リフォーム

おうちdeリフォーム

内外装を満足リフォーム



- 玄関リフォーム
- 外壁リフォーム
- ...

2店舗(2014/3)
→10店舗(2015/3)

リフォーム旗艦店

LIXILグループとの提携による取り組みが着実に進展している

リフォームコーナーの導入

- 店舗へのリフォームコーナー導入
（今期+56店舗）
- 大規模リフォームの展開拡大
（今期+8店舗）

商品ラインナップの拡大

- 金属系商材の展開開始
→玄関ドア、サッシ等を展開

工事体制の強化

- LIXILの工事網との連携
→LIXIL提携工事業者を活用
- リフォーム新システムの開発
→工程管理等を強化

研修体制の強化

- 全国4箇所の研修センター設置
- LIXILのプログラムによる研修実施
→施工管理品質アップ
→工事業者スキルアップ

フランチャイズ店舗の特性を活かしてリフォームの展開を行う

当社のフランチャイズ店舗

地域密着で量販店には提供できない
サービスを提供する店舗

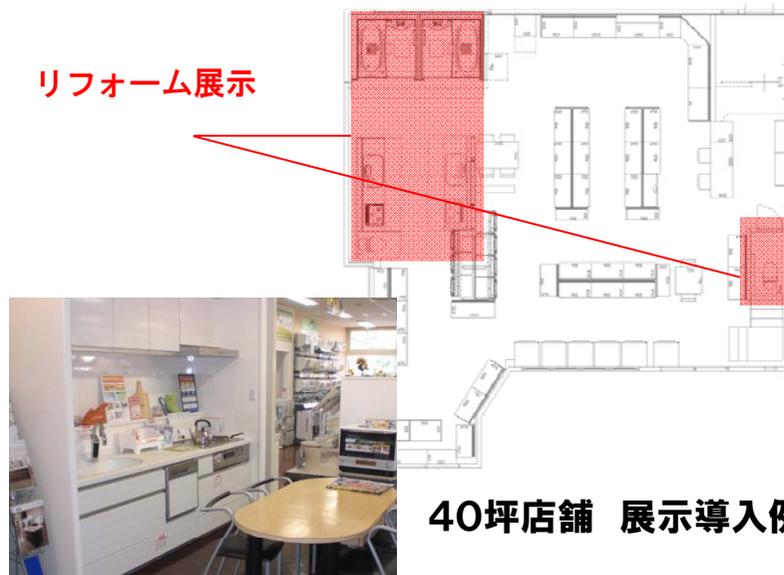


- 売場面積 平均20坪
- 商圈 半径500m~1km
- 顧客 500~1,000世帯
- 訪問営業中心

○フランチャイズ店舗での受注強化

- FC従業員への研修実施
- 販促ツールの整備
- 問い合わせ窓口の設置
- 一部店舗へ展示導入開始

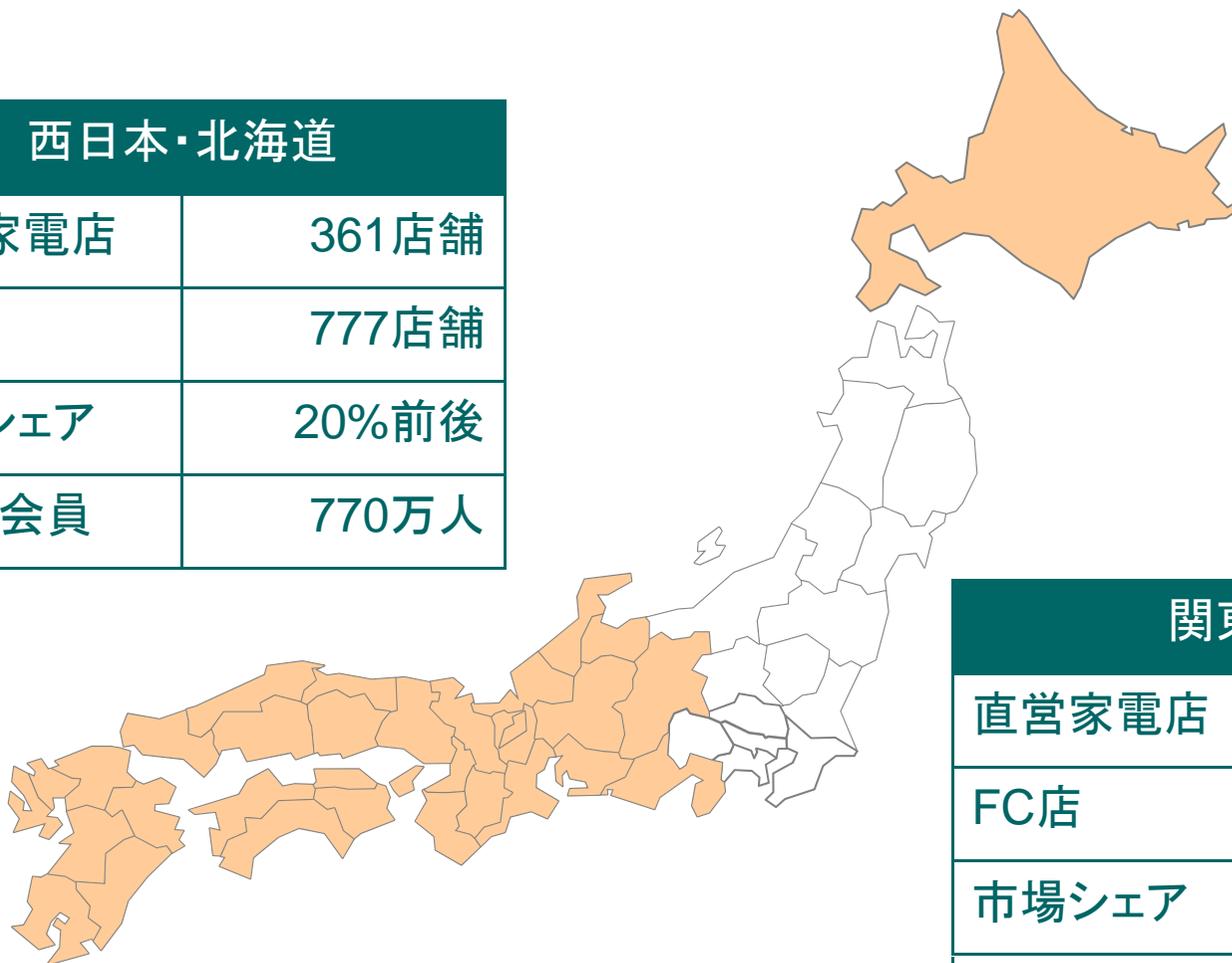
リフォーム展示



40坪店舗 展示導入例

西日本では、強固な店舗ネットワークと会員を保持している

西日本・北海道	
直営家電店	361店舗
FC店	777店舗
市場シェア	20%前後
カード会員	770万人



関東・東北	
直営家電店	8店舗
FC店	0店舗
市場シェア	1%前後
カード会員	23万人

店舗が少ないエリアへのチャネルとしてEコマースの売上を拡大させる



売上構成の比較

	Eコマース	実店舗
非会員構成	85%	18%
東日本構成	57%	6%

2014年度の取り組み

- YAHOO! ショッピングへの出店
- 配送能力の拡大
- 取り扱い品種の拡大

(百万円)	2012年度 通期実績	2013年度 通期実績	前年比	2014年度 通期計画	前年比
Eコマース売上高	3,005	11,396	379.2%	25,000	219.4%

既存店の改装と中小型店の出店を推進する

2014年度の取り組み

○50店以上の改装
 →リフォーム導入
 →家電需要の変化にあわせた
 レイアウトの見直し

○生産性重視の出店
 →中小型店の出店
 →西日本中心の出店

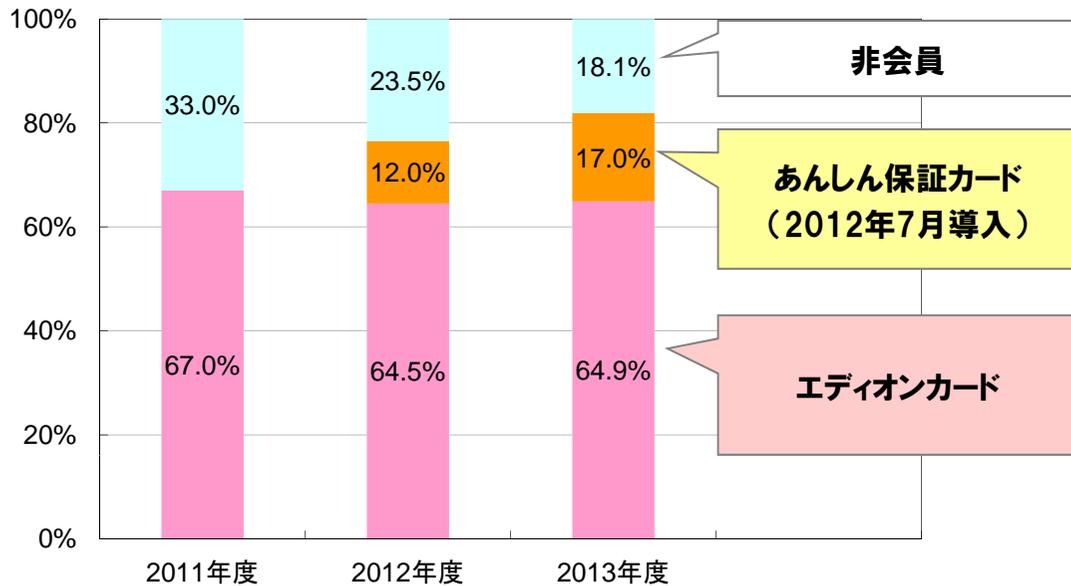


○今期出店計画

(店舗数)	2014/3	新規	移転	閉鎖	増減	2015/3 計画
直営家電店	369	11	5	2	+9	378

カード会員数と売上構成の拡大を推進する

会員売上構成比推移

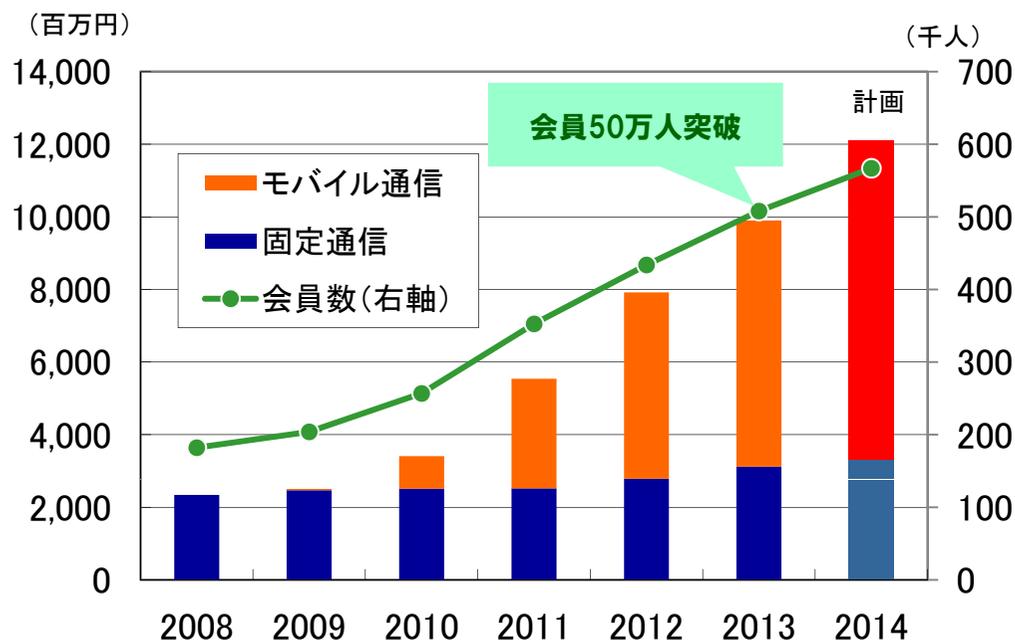


- 会員化による顧客管理
- 購買分析によるアプローチ

	2013/3 実績	2014/3 実績	前期末 増減	2015/3 計画	前期末 増減
会員数 (千人)					
エディオンカード	4,405	4,533	+128	4,580	+47
あんしん保証カード	1,627	3,396	+1,769	4,680	+1,284

新たな収益源として、コンテンツによる収益の獲得をはかる

インターネット接続事業売上推移



○ブロードバンド回線の普及
○通信端末の多様化



○コンテンツ収益の獲得へ

エンジョイ with U-NEXT
配信本数 55,000 本以上!! 日本最大級のビデオ・オンデマンド
あらゆるジャンルが選び放題!見放題!配信本数55,000本以上!※毎月2,000本更新!
※2013年2月時点 ※PVコンテンツを含む

(百万円)	2012年度 通期実績	2013年度 通期実績	前年比	2014年度 通期計画	前年比
会費収入	7,921	9,900	125.0%	12,100	122.2%

高付加価値の白物家電が需要を牽引していく

白物3商品(エアコン・冷蔵庫・洗濯機)の単価前年比推移 ※エディオン直営店



白物3商品(エアコン・冷蔵庫・洗濯機)のメーカー出荷台数推移



テレビの需要が回復し家電需要は再び成長基調へ

4Kテレビのラインナップ拡大

○50型以上の半分以上が4Kテレビに

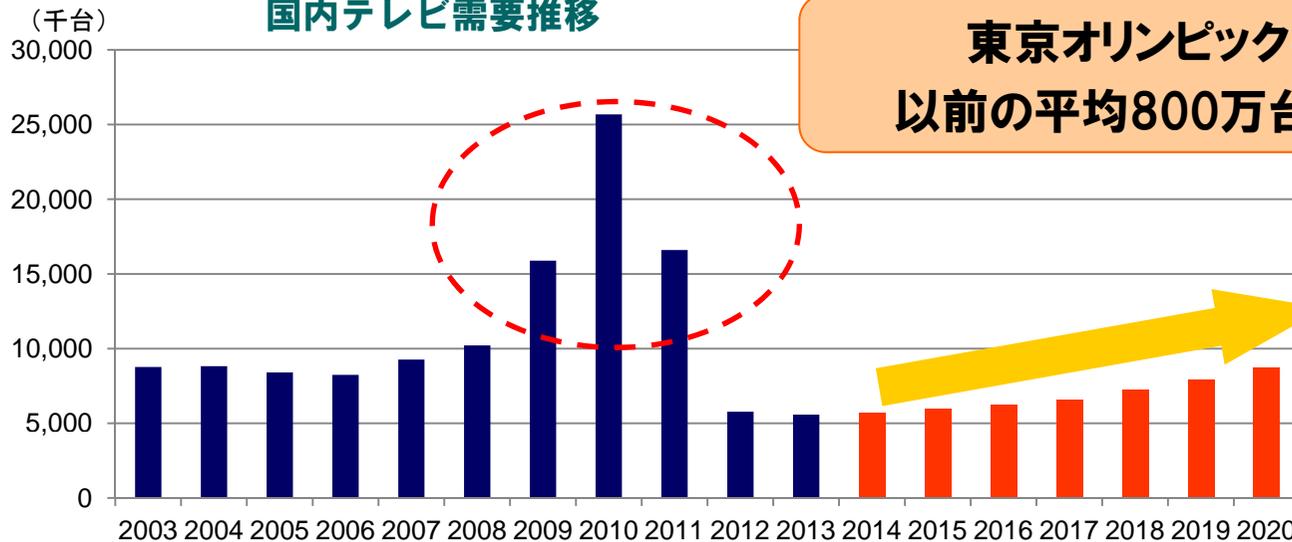


4K対応機器の増加

○4K対応機器が各社より発売



国内テレビ需要推移



東京オリンピックに向けて
以前の平均800万台へと回復へ

買って安心
ずっと満足

EDION
エディオン